

第19回日本乳癌学会九州地方会 教育セミナー

治療編

テーマ：

「周術期化学療法最適化～適応とレジメン」

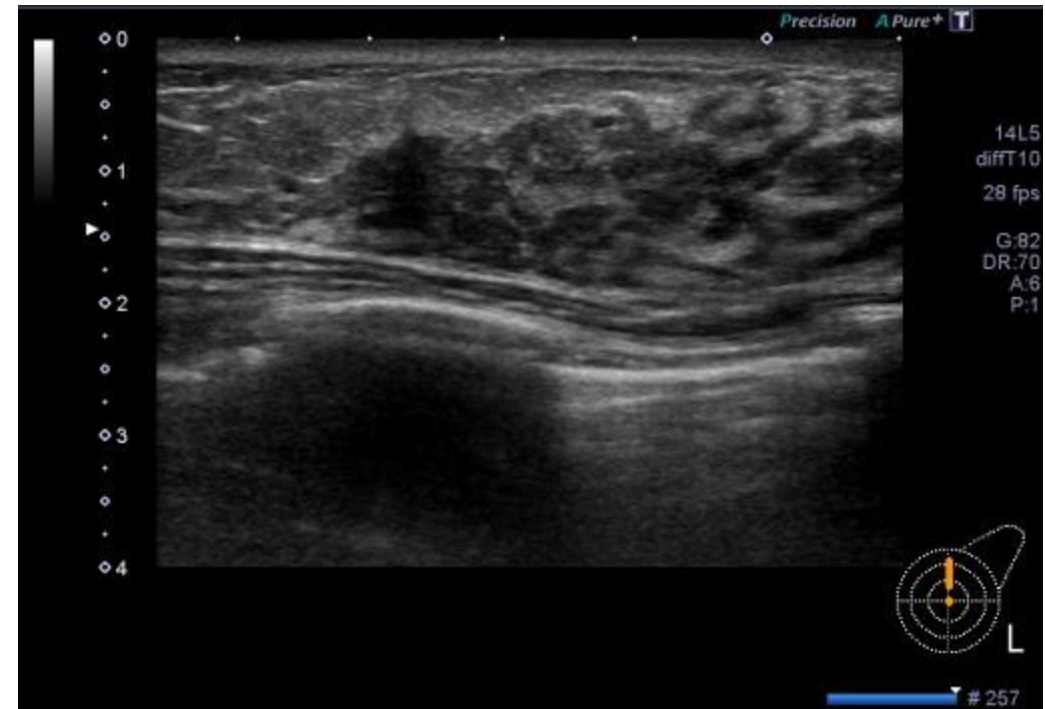
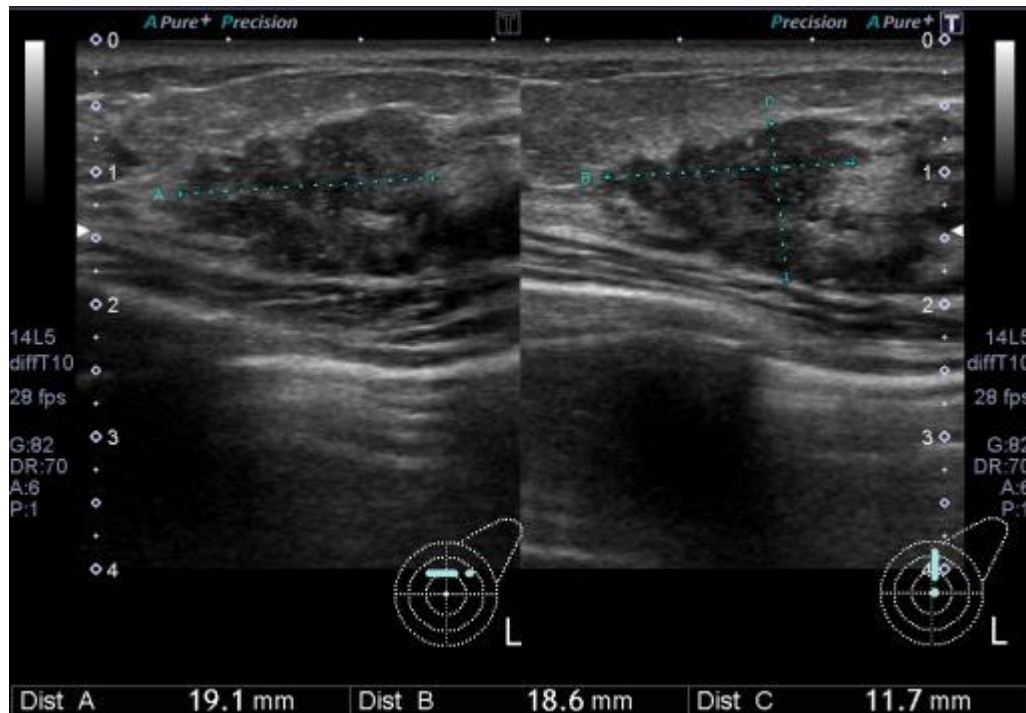
- HER2陽性乳癌

症例1：33歳女性 PS0、併存疾患なし

cT1cN0M0, cStage I（広範な乳管内進展あり、腫瘍径は19mm）

IDC, ER Score 3b, PgR Score 3b, HER2 3+, NG 1, Ki67 20%

診断時の患者の希望：化学療法をしたくない、乳房を残したい

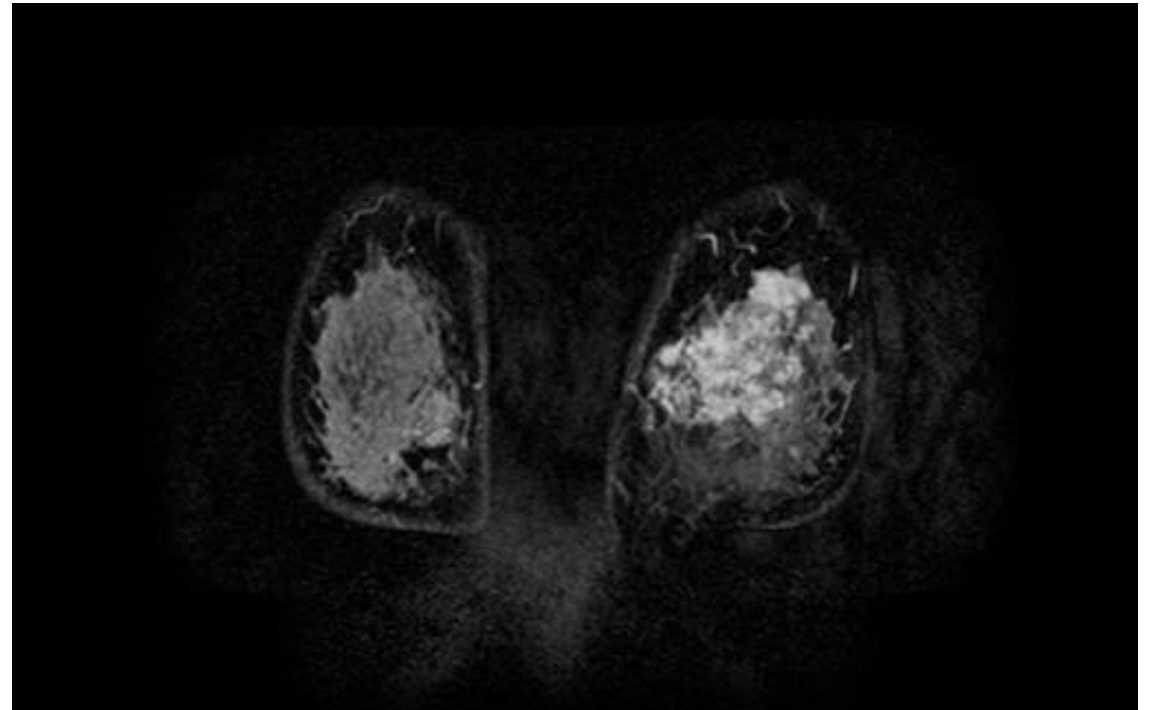
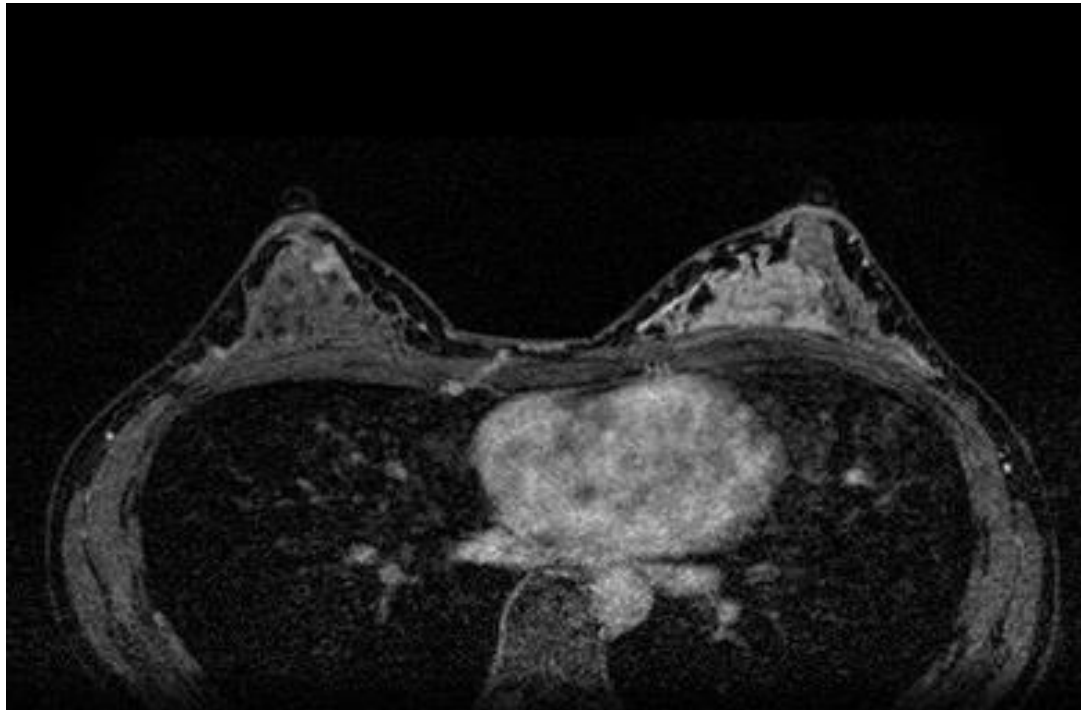


症例1：33歳女性 PS0、併存疾患なし

cT1cN0M0, cStage I（広範な乳管内進展あり、腫瘍径は19mm）

IDC, ER Score 3b, PgR Score 3b, HER2 3+, NG 1, Ki67 20%

診断時の患者の希望：化学療法をしたくない、乳房を残したい



症例1：33歳女性

PS0、併存疾患なし

質問1：治療方針の決定にあたって患者さんに確認・話し合うことは？

質問2：治療方針は？

①術前化学療法 ②手術先行、術後化学療法

質問3：治療レジメンは？

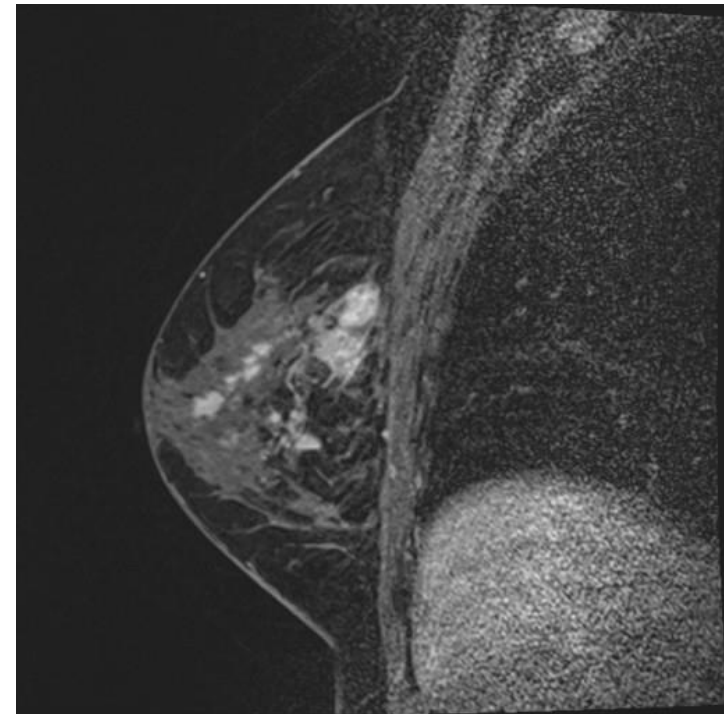
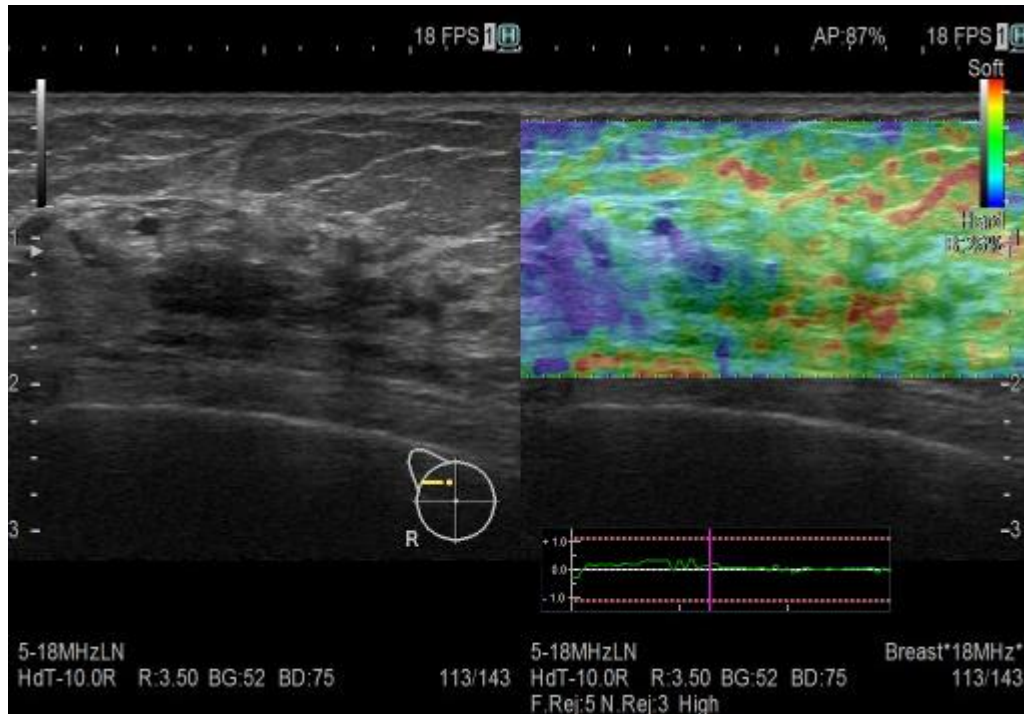
症例2：75歳女性

PS0、併存疾患：糖尿病、高血圧

cT1cN0M0, cStage I（腫瘍径は18mm）

IDC, ER 0%, PgR 0%, HER2 3+, NG 2

診断時の希望：特になし



症例2：75歳女性

PS0、併存疾患：糖尿病、高血圧

質問1：治療方針は？

①術前化学療法 ②手術先行、術後化学療法

質問2：治療レジメンは？

質問3：治療方針の決定、治療にあたって確認することは？